

●責任者変更

1. まず現責任者から新責任者を指定する

GA-lab Tohoku University | 申請書・報告書検索 | 実験責任者 (設置責任者) C

表示順切替え | 動物 実験責任者 | 【申請書】

動物実験
実験実施者
計画書

飼養者・実験責任者
実験室/飼養保管施設

実験責任者
計画書

設置責任者
実験室/飼養保管施設

遺伝子組換え実験

① 実験責任者のメニューから計画書を選択して一覧画面を表示させます。

作成中 | 申請中 | 差戻し・再提出 1

承認済み・回答書 7

計画書番号	申請区分	タイトル	開始日 - 終了日(予定)	申請	印刷
2019薬動-006	新規	①【テスト】動物実験 1 1	2020-03-13~2022-03-31	更新 変更 年次 終了・中止	PDF
2019薬動-007	新規	①【テスト】動物実験 1 2	2020-03-13~2022-03-31	更新 変更 年次 終了・中止	PDF
2019薬動-008	新規	①【テスト】動物実験 1 3	2020-03-13~2022-03-31	更新 変更 年次 終了・中止	PDF
2019薬動-009	新規	①【テスト】動物実験 1 4	2020-03-13~2022-03-31	更新 変更 年次 終了・中止	PDF
2019薬動-010	新規	①【テスト】動物実験 1 5	2020-03-13~2022-03-31	更新 変更 年次 終了・中止	PDF
2019薬動-012-01	変更	MTCanimaltest1		更新 変更 年次 終了・中止	PDF
2019薬動-013	新規	MTCanimaltest2		更新 変更 年次 終了・中止	PDF
2019薬動-015	新規	①MTCanimaltest4	2020-03-25~2022-03-31	更新 変更 年次 終了・中止	PDF
2019薬動-016	回答書	①動物実験計画書 テスト	2020-03-25~2022-03-31	更新 変更 年次 終了・中止	PDF

② 「申請書」タブの「承認済み・回答書」タブから、「変更」ボタンをクリックして入力画面を開きます。

related activities

実験実施予定期間
Scheduled period of animal experiments and related activities

※3年度期間まで申請できます。承認期間満了時に期間更新ができますが、新規申請承認開始日から最長6年度末までとします。
2020-03-25~ 2022-03-31
 実験の開始に緊急事由を有するため、迅速審査を依頼する

計画の種類
Type of ap (animal ex education)

● 動物実験 (試験・研究) ● 教育研修

③ 変更点の区分で「左記以外を含む変更」を選択してください。

変更点
Changes from the previous protocol

変更点
 実験実施者・実験場所・飼養保管施設 左記以外を含む変更

行追加 ※1行あたり最大50文字まで

④ 行追加して変更内容を簡潔に簡条書してください。
例) 責任者をAからBに変更

動物実験実施者 (教育研修講師)
Animal experiment researcher (instructor)

検索

氏名	入力権限	所属部局	職	電話番号	教育訓練受講番号	
実験実施者 (飼養者) C	<input checked="" type="checkbox"/>	薬学研究科	教授	110-3	A113	削除

グループ選択

TOP 移動

動物実験実施者 (教育研修講師)
Animal experiment researcher (instructor)

検索

氏名	入力権限	所属部局	職	電話番号	教育訓練受講番号	
実験実施者C	<input checked="" type="checkbox"/>				2011435	削除
実験実施者A	<input checked="" type="checkbox"/>				2010122	削除
実験実施者B	<input type="checkbox"/>				2011302	削除

自由入力欄追加

グループ選択

動物実験 (教育研修) 責任者
Principal investigator (instructor)

※実験責任者は実験内容の把握・管理ができ、

氏名
所属部局
電話番号

実験実施者C
実験実施者A
実験実施者B
実験実施者B

⑤ 責任者欄の氏名右のプルダウンリストから新責任者を選択してください。
※実施者の中から責任者になれる身分の方が表示されます。
実施者に含まれていない場合には先に実施者欄にて追加してください。

新システムへ切り替え後のデータ補完が済んでいない場合は、旧システムからのデータが移行されていない欄や新しく設けられた欄を入力してください。新責任者が入力することもできます。

動物実験 (教育研修) 責任者
Principal investigator (instructor)

※実験責任者は実験内容の把握・管理ができ、

氏名
所属部局
電話番号
教育訓練受講番号

実験実施者B

職
分野等
E-mail

⑥ 確認依頼をクリックすると、計画書が新責任者の画面に移動します。

連絡者
Person who can be a substitute of the principal investigator (instructor)

※実験責任者が不在の際など、責任者に代わって対応できる実験実施者としてください。
 責任者と同じ 連絡者を登録

保存 PDF 確認依頼

復写 チェック 差分 削除

ディスカッション

TOP 移動

2. その後、新責任者から計画書を提出する

動物実験責任者

計画書作成

申請書

作成中 申請中 差戻し・再提出

選択	計画書番号	申請区分	ステータス	タイトル	開始日 - 終了日(予定)	印刷
<input type="checkbox"/>		新規	一時保存	未入力	2020-10-22~2023-03-31	PDF
<input type="checkbox"/>	2019薬動-016-01	変更	責任者確認中	動物実験計画書 テスト	2020-04-02~2023-03-31	PDF
<input type="checkbox"/>	2020テ動-010-01	変更	一時保存	動物実験	2020-10-27~2023-03-31	PDF
<input type="checkbox"/>		新規	一時保存	未入力	2020-05-28~2023-03-31	PDF
<input type="checkbox"/>		新規	一時保存	動物実験 複写	2020-09-30~2023-03-31	PDF

削除

① 新責任者の計画書の「作成中」のタブに表示されている計画書を開きます。

変更点

Changes from the previous protocol

変更点

○ 実験実施者・実験場所・飼養保管施設 ● 左記以外を含む変更

行追加 ※1行あたり最大50文字まで

変更点

責任者をAからBに変更

実験1の使用動物にICRマウスを

実験2を追加

② 責任者変更以外にも変更する場合には、変更点に記載し、関連する欄に変更を加えてください。新システム切り替え後のデータ補完が済んでいない場合は、旧システムからのデータが移行されていない欄や新しく設けられた欄を入力してください。

※全システムでは変更箇所を<< >>で囲う決まりでしたが、新システムでは<< >>は不要です。差分表示機能で変更箇所を確認できます。以前の<< >>は記号部分を削除をお願いします。

動物実験実施者(教育研修講師)

Animal experiment researcher (instructor)

検索

氏名	入力権限	所属部局	職	電話番号
実験実施者(飼養者) C	<input checked="" type="checkbox"/>	薬学研究科	教授	110-3

グループ選択

提出

③ 「提出」をクリックしてください。

責任者変更時の注意点

- ・新システムへの切り替えに伴うデータ補完が済んでいない場合は、前回承認時と同じ内容でデータの補完をお願いします。
- ・既に承認済みの実験方法や使用動物を削除することはできません。
- ・実験の課題名や実験の目的、実験内容を大幅に変更する場合は、新規で申請してください。
- ・使用動物は系統ごとに分けて計上してください。実験番号1つあたり30行まで入力可能です。
- ・計画書1つあたり実験番号を5つまで入力することができます。
- ・新しく責任者になる場方が他の部局に所属の場合には、動物実験センターまでお問い合わせください。

●データ補完をする場合の主な注意点

新旧システムの切り替えに伴い、データが移行されている部分とされていない部分があります。お手元に保存いただいている計画書PDFのデータと比較して、空欄部分と新しく設けられた欄を入力してください。

<実施者の入力>

東北大IDに変更があると実施者のデータが移行されていない場合があります。東北大IDに変更がある場合には、新しいIDをclar@med.tohoku.ac.jpまでお知らせください。教育訓練未受講の方は実施者検索にヒットしません。自由入力欄に手入力し、教育訓練受講番号欄は「未受講」「受講予定」などを入力してください。東北大IDが発行されない方も自由入力欄に力してください。教育訓練受講済みの場合は受講番号を、未受講の場合は「未受講」「受講予定」などを入力してください。

<実験実施場所の入力>

共同利用施設については「共同利用の飼養保管施設/実験室」の欄で選択してください。それ以外の飼養保管施設、実験室は、その下の欄で選択してください。その他の飼養保管施設とその他の実験室の欄に旧書式からデータ移行がされていますので、適宜入力欄の修正をお願いします。

実験（教育研修）の実施場所 Location of facilities		共同利用の飼養保管施設/実験室	
<input checked="" type="checkbox"/>	2016農施-003	農学研究科附属動物研究棟	
<input type="checkbox"/>	2017加施-001	加齢医学研究所 動物実験施設	
<input type="checkbox"/>	2017薬施-002	東北大学大学院薬学研究科 S P F 実験動物施設	
<input type="checkbox"/>	2018サ施-001	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター 生物実験室	
<input checked="" type="checkbox"/>	2018医施-001	東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設（中央飼育実験室）	
<input type="checkbox"/>	2018医施-002	医学系研究科附属動物実験施設 0号館	
<input type="checkbox"/>	2018医施-003	東北大学病院臨床分室	
<input type="checkbox"/>	2018医施-019	東北大学病院先端医療技術トレーニングセンター	
<input type="checkbox"/>	2018薬施-003	東北大学大学院薬学研究科動物飼育施設・第一動物舎	
<input type="checkbox"/>	2019医工施-001	医工学研究科・P 2 A 動物飼育・実験室	
<input type="checkbox"/>		備考	
その他の飼養保管施設			
	部局	承認番号	名称
<input type="checkbox"/>	医学系研究科	2018医施-001	東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設（中央飼育実験室）
<input type="checkbox"/>			備考（飼育を行わない場合はその旨を記入） または対象飼養保管施設
その他の実験室			
	部局	承認番号	名称
<input type="checkbox"/>	医学系研究科	2019医実-005	動物実験センター実験室（ガンマ線室・検査室・研修室）
<input type="checkbox"/>	医学系研究科	2018医施-001	東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設（中央飼育実験室）
<input type="checkbox"/>	農学研究科	2016農施-003	農学研究科附属動物研究棟
<input type="checkbox"/>	薬学研究科	2018薬実-001	第2実習室

共同利用の施設は上の欄で選択し
その他の飼養保管施設および
その他の実験室の欄からは削除をお願いします。

<遺伝子組換え実験、放射線使用実験等について>

安全管理上注意を要する実験の欄の項目が増えました。該当するものにチェックを入れてください。

安全管理上注意を要する動物実験について（特殊実験区分） Category of the experiments		Animal experiments requiring special attention for security management	
特殊実験実施の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
		有にチェックを入れると欄が開きます。	
		<input type="checkbox"/> 1.感染実験 <input type="checkbox"/> 2.化学発癌・重金属/毒物投与 <input type="checkbox"/> 3.非医薬品の投与実験（医薬品グレード以下の薬品、試薬など） <input type="checkbox"/> 4.放射線同位元素・放射線使用実験 <input type="checkbox"/> 5.特定動物（人に危害を加える恐れのある危険な動物） <input type="checkbox"/> 6.特定外来生物（日本の生態系に被害を及ぼす又は及ぼすおそれのある外来種） <input type="checkbox"/> 7.麻薬・向精神薬の使用 <input type="checkbox"/> 8.遺伝子組換え実験承認番号（ゲノム編集を含む） <input type="checkbox"/> 9.人を対象とする研究倫理委員会へ申請が必要な実験	

<使用匹数と算出根拠について>

「動物の使用数または繁殖数」の欄はデータが移行されていません。お手元のPDFを参照して、前回承認時のデータを入れてください。そのうえで、追加する系統がある場合には、追加してください。変更点にも「実験1にSDラットを追加」などと明記してください。実験が終了しているとしても、削除はしないで、まずはデータ補完をお願いします。年次報告や終了報告に関係するためです。旧システムで系統をまとめて記載していた場合には、1系統ずつに分けて計上してください。

<新旧記載例A>

使用匹数と算出根拠			
実験番号	動物種	系統名	初年度使用数(匹数/群×群数×試験回数) 初年度算出根拠
1	マウス	ICR	5×2×2=20 1群あたり5匹、投与群とコントロールで2群、2回行う。
			2年度使用数(匹数/群×群数×試験回数) 2年度算出根拠
			5×2×2=20 1群あたり5匹、投与群とコントロールで2群、2回行う。 前年度までの成果によっては行わない。
			3年度使用数(匹数/群×群数×試験回数) 3年度算出根拠
			5×2×2=20 1群あたり5匹、投与群とコントロールで2群、2回行う。 前年度までの成果によっては行わない。

合計の匹数が前回承認された全年度分を合わせた匹数となるように試験回数などを調整してください。



動物種	入手先など	系統名
マウス	日本クレア（株）	JchlICR
遺伝子組換え動物	微生物学的保証	動物の特性など
<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 有	
匹数	5 ×	群数 2 ×
		回数 6 = 合計 60
算出根拠	1群あたり5匹、投与群とコントロール群で2群、3年間で6回行う。成果によっては試験回数を減らす。	
		使用動

<新旧記載例B>

使用匹数と算出根拠			
実験番号	動物種	系統名	初年度使用数(匹数/群×群数×試験回数)
1	マウス	Balb/c57BL/6	5×4×2=40 1群あたり5匹、各系統投与群とコントロールで4群、2回行う。
			2年度使用数(匹数/群×群数×試験回数) 5×4×2=40 1群あたり5匹、各系統投与群とコントロールで4群、2回行う。 前年度までの成果によっては行わない。
			3年度使用数(匹数/群×群数×試験回数) 5×4×2=40 1群あたり5匹、各系統投与群とコントロールで4群、2回行う。 前年度までの成果によっては行わない。

系統をまとめて計上していたものは、系統ごとに分けてください。



動物種	入手先など	系統名
マウス	日本クレア (株)	検索 ALB/cAJcl
遺伝子組換え動物	微生物学的保証	動物の特性など
<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 有	
匹数 5 × 群数 2 × 回数 6 = 合計 60		
算出根拠 1群あたり5匹、投与群とコントロール群で2群、3年間で6回行う。成果によっては試験回数を減らす。		
動物種	入手先	系統名
マウス	日本クレア (株)	検索 C57BL/6Jcl
遺伝子組換え動物	微生物学的保証	動物の特性
<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 有	
匹数 5 × 群数 2 × 回数 6 = 合計 60		
算出根拠 1群あたり5匹、投与群とコントロール群で2群、3年間で6回行う。成果によっては試験回数を減らす。		

<新旧記載例C>

使用匹数と算出根拠			
実験番号	動物種	系統名	初年度使用数(匹数/群×群数×試験回数)
1, 2	マウス	ICR	3×1×1=3 実験1の予備実験として3匹
			2年度使用数(匹数/群×群数×試験回数) 5×2×2=20 1群あたり5匹、投与群とコントロールで2群、2回行う。 実験1を行う
			3年度使用数(匹数/群×群数×試験回数) 5×2×2=20 1群あたり5匹、投与群とコントロールで2群、2回行う。 実験2を行う

実験番号をまとめて計上していたものは、実験ごとに分けてください。



動物種	入手先など	系統名
マウス	日本クレア (株)	検索 Jcl:ICR
遺伝子組換え動物	微生物学的保証	動物の特性など
<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 有	
匹数 23 × 群数 1 × 回数 1 = 合計 23		
算出根拠 予備実験として3匹 本実験として5×2(投与群とコントロール群)×2=20匹 計23匹		
動物種	入手先など	系統名
マウス	日本クレア (株)	検索 Jcl:ICR
遺伝子組換え動物	微生物学的保証	動物の特性など
<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 有	
匹数 5 × 群数 2 × 回数 2 = 合計 20		
算出根拠 投与群とコントロールで2群、これを2回行う。		

<麻酔薬・鎮痛剤の記載について>

麻酔薬・鎮痛剤・抗生剤等を使用する場合には、投与量、経路を記載してください。投与量の欄にて、以下が分かるよう記載してください。

- 吸入麻酔: 気化器使用の場合→導入何%, 維持何%
それ以外(チューブ等)で容量を明確に記載できない場合→「適量+目的(短時間の鎮静、注射麻酔補助等)」等
- 注射麻酔: 動物の体重当たりの麻酔薬成分の量(mg/kg等)、東北大学規程記載の(三種混合麻酔等の)標準値を使用する場合は「ml/g」も可。
- 複数動物種を使う場合には、それぞれについて別記

動物の苦痛軽減・排除の方法	Method for minimizing/eliminating pain and distress to laboratory animals
<input type="checkbox"/> 1.短時間の保定・拘束及び注射など、軽微な苦痛の範囲であるため特に処置を講ずる必要は無い	
<input type="checkbox"/> 2.科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず処置できない	
<input checked="" type="checkbox"/> 3.麻酔薬・鎮痛薬・抗生剤等を使用する	行追加 行追加すると欄が開きます。
<input type="checkbox"/> 4.術後管理	
<input type="checkbox"/> 5.苦痛・ストレス・QOLを伴う場合、下記の人道的エンドポイントを設定する	
薬剤名	投与量
選択...	選択...
投与経路	削除
選択...	
<input type="checkbox"/> 4.術後管理	
<input type="checkbox"/> 5.苦痛・ストレス・QOLを伴う場合、下記の人道的エンドポイントを設定する	

<人道的エンドポイントについて>

人道的エンドポイントはデータ移行されていません。「動物の苦痛軽減・排除の方法」の欄の5にチェックを入れて前回承認時の内容を入力してください。

動物の苦痛軽減・排除の方法	Method for minimizing/eliminating pain and distress to laboratory animals
<input type="checkbox"/> 1.短時間の保定・拘束及び注射など、軽微な苦痛の範囲であるため特に処置を講ずる必要は無い	
<input type="checkbox"/> 2.科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず処置できない	
<input type="checkbox"/> 3.麻酔薬・鎮痛薬・抗生剤等を使用する	
<input type="checkbox"/> 4.術後管理	
<input checked="" type="checkbox"/> 5.苦痛・ストレス・QOLを伴う場合、下記の人道的エンドポイントを設定する	チェックを入れると欄が開きます。
実験終了後の処置	安楽死処置 <input type="checkbox"/> 通常の飼育管理に戻す <input type="checkbox"/> 他の実験に供試する (十分な回復期間を設定します)
Methods of how to treat laboratory animals after the completion of experiments	<input type="checkbox"/> その他
実験方法の複製・削除	上記の内容を複製して追加 <input type="button" value="この実験方法を削除"/>
Replication or deletion of this	